

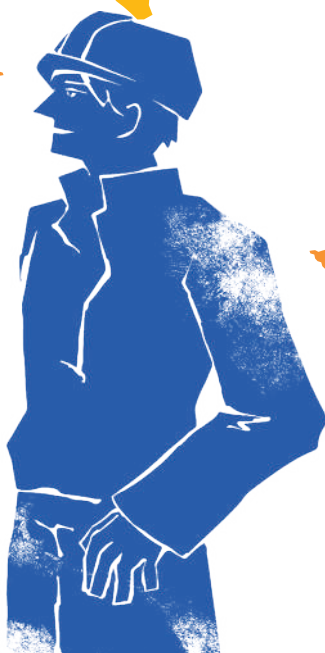
仲間がいる、
技術がある、
力タチになる。



多田工務店

いつか、

お父さんの仕事だぞって
子どもたちに伝えたい。



ロボットやAIには
つukれない。

だから、自分たちの
手でつくる。





型枠工事。
聞いたことありますか？

新しいビル、新しい橋、新しい施設。どんな建物も、躯体工事に支えられて構造物としてのカタチになります。なかでも躯体工事の一つである「型枠工事」は、液状のコンクリートを土台として成型するための重要な工程です。多田工務店は「型枠工事」で一目置かれる存在。「型枠工事」と言えば多田工務店、として知られています。



「型枠工事」は、
建物づくりに欠かせない。



「型枠工事」が、
建物の強さと美しさを
左右します。

型枠の仕上がりは、建物そのものの曲がりや歪みにまで影響を及ぼします。建物の強度だけでなく、外観の美しさにも関わるので、失敗が許されないプロセス。数ミリずれただけで建物全体が台無しになるかもしれない重要な工事です。平面の設計図から立体をつくり上げる。まさに豊富な経験と技術がモノをいう特別な世界です。



大丈夫。最初はだれでも
初心者だから。

「何をしたいのかわからない」最初は、みんなそうでした。多田工務店には、たくさんの現場をこなしてきたベテランがいます。気持ちをほぐしてくれる元氣な兄貴分もいます。創意工夫する先輩たちの姿からたくさんのことを学んでください。業務の全体像が見えてくれば、少しずつ自分で考えて判断できるようになるはずです。



楽しい仲間がいるから、
楽しい現場がはじまる。

黙々と作業をこなすよりも、和気あいあいであるほうが仕事は楽しい。ちょっとした世間話でも、仲間の様子をすることで相互理解が深まります。だから私たちは休憩時間にみんな一緒にお弁当を食べる時間も大切にします。雑談や冗談も、いい仕事を仕上げるためのコミュニケーション。ONとOFFの切り替えて、チームワークを引き出します。



技術のバトンタッチ。
先輩から
君たちへ、



同じような仕事はない。
だから現場は、
毎日が新しい。



未来につながるカタチづくりを
支えています。

震災後の復旧工事にもたくさん関わってきました。災害復旧工事は試行錯誤の連続で苦勞することがたくさんあります。それでも自然の怖さを肌で感じた地元の一員として地域に貢献しようという意識をみんなが持っています。私たちが知恵を絞り、汗をかいた結果は、この先何十年も残るもの。未来につながるカタチづくりを支えています。



工夫できることが、
毎日あります。

現場には、同じ仕事は一つもありません。作業環境も条件も、工事規模もスケジュールもスタッフも、案件ごとにちがう工事が待っています。時には天候にも左右され、設計変更という事態も起きます。安全に予定通りに工事を進める。当たり前のことですが、実際にはイレギュラーに対応するために臨機応変な対応が不可欠なのです。



これが俺たちの 7つ道具。



1 ハンマー

仮枠作業を行う現場は、固定するパイプや鉄筋などで入り組んでいます。複雑な場所で扱えるように、柄は長めで、打撃面は飛び出したような形状になっています。打撃面の反対側は釘抜きになっていて、解体作業で使います。

2 番線カッター

針金や番線などを切る工具です。番線とは、資材を縛ったり固定したりするための針金のこと。「テコの原理」を組み合わせた番線カッターは、小さな力で何十倍の大きな力を発揮して、太い番線でも簡単に切断する事ができます。

3 バー

「釘抜き」だけでなく、重いものを動かしたり浮かせたりする時に、先端の平たくなっている部分をパネルなどに差し込んで「てこ」として使います。パネルについたノロ（セメントペースト）を剥がす時にも重宝します。

4 ラチェットレンチ

ボルトやナットをしめる工具ですが「ラチェットレンチ」は片方向にしか回転しません。回転方向は、レバーを上下することで逆方向に切り替えることができます。お尻の部分は細くなっていて、番線を結ぶ時に使う「しの」としても使用できます。

5 インパクト

片手で持てるサイズで、型枠組立・解体時に重宝する電動工具です。先端が回転する力を利用して、ネジ締めだけでなく緩める作業もできます。内蔵されているハンマーで衝撃（インパクト）を加えながら締め上げることでより強い力を発揮します。

6 丸ノコ

チップソーと呼ばれる円盤状の硬い刃を回転させて材料を切断する電子工具です。ノコギリやジグソーと比べて格段に早く切断することができ、直線をきれいに切断できます。

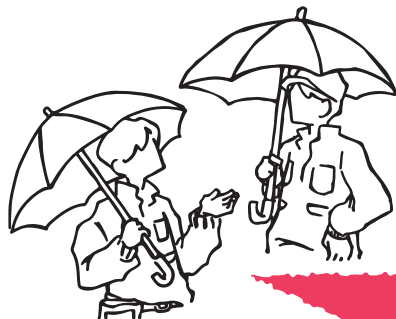
7 腰袋

腰ベルトや胴ベルトに取り付ける道具や資材の収納袋です。移動しながら作業を行う職人にとっては必要不可欠なアイテム。必要な道具がすぐに取り出せるだけでなく、移動時に両手をふさぐことがないので安全性も高まります。

まさかのアクシデント。

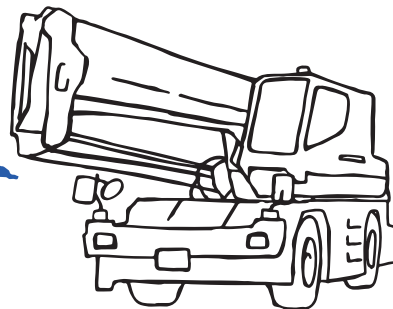


天井作業中に、自分も落ちかけたけど
鋼管が4mくらい落下しちゃった！



大雨が降って、
工事開始が遅れちゃった。
工期は間に合うか？

現場は民家の近く、
クレーン車が入る
スペースがないぞ！



その時 **みんなは、どうしたの？**

気になったら、ここにアクセス。



有限会社 多田工務店

本社所在地 〒028-0531 岩手県遠野市綾織町新里21地割28番地2

TEL 0198-62-5315 FAX 0198-62-6898

■詳しい会社概要、有資格者数、施工実績、採用情報などは企業サイトをご覧ください。

<http://www.tada-tono.jp/about/>

※QRコードからもアクセスできます。